# 19 慣用句

**慣用句とは？** 二つ以上の言葉が結びつき、もとの一つ一つの言葉から発展した特別な意味を表すようになった言葉。

## 要点のまとめ

### ●慣用句

#### 体の部分に関する慣用句

| | |
|---|---|
| 目 | 例 **目がない**…非常に好きであること。ものを見分ける力がないこと。<br>**目に余る**…黙って見過ごせないほどひどい様子。 |
| 鼻 | 例 **鼻が高い**…得意な様子。誇らしい様子。<br>**鼻を明かす**…相手を出し抜いて、あっと言わせること。 |
| 口 | 例 **口を割る**…隠しきれなくなってしゃべること。<br>**口が減らない**…勝手な理屈を並べて言い返すこと。 |
| 耳 | 例 **小耳に挟む**…聞くともなしにちょっと聞くこと。<br>**耳を疑う**…聞いたことが信じられず、驚くこと。 |
| 手 | 例 **手に余る**…自分の能力を超えていて対処できないこと。<br>**手を尽くす**…考えられる限りの手段を試してみること。 |
| 足 | 例 **揚げ足を取る**…言葉じりをとらえて相手をからかったり皮肉を言ったりすること。<br>**足もとを見る**…相手の弱みにつけこむこと。 |
| 頭 | 例 **頭を冷やす**…冷静さを取り戻すこと。 |
| 腹 | 例 **腹を決める**…決心すること。覚悟すること。 |
| 歯 | 例 **歯が立たない**…相手が自分の能力をはるかに超えていて、とてもかなわないこと。 |

#### 動物に関する語を使った慣用句

例 猫をかぶる…本性を隠しておとなしそうに見せかけること。
馬が合う…考え方や感じ方が相手とぴったり合うこと。
雀の涙…非常に少ないこと。
虫がいい…自分勝手で図々しい様子。

#### その他の慣用句

例 板につく…その仕事に慣れて、動作や態度がしっくり合うこと。
恩に着せる…恩を与えたことを、相手にありがたく思わせること。
くぎを刺す…後で約束を破られないように、相手に念を押すこと。
さじを投げる…解決の見込みがなくなり、諦めて見放すこと。
棚に上げる…不都合なことに触れないで、放っておくこと。
音を上げる…苦しさに耐えられず、泣き言を言うこと。

※辞典などによって、慣用句・ことわざの区別が異なっている場合がある。

## 確認問題

**1** 慣用句 次の□に体の部分を表す漢字一字を当てはめて、下の意味を表す慣用句を完成させなさい。

① □を伸ばす…ある場所に着いてから、さらに遠くまで行くこと。
② □がすべる…言ってはならないことをうっかり言うこと。
③ □であしらう…相手の言葉をまともに受け止めず、冷淡に対応すること。
④ □を長くする…今か今かと待ちわびること。
⑤ 喉から□が出る…ほしくてたまらないこと。
⑥ □が痛い…他人の言葉が自分の弱点を突いていて、聞くのがつらいこと。
⑦ □を巻く…相手があまりにすばらしくて感心すること。
⑧ □が低い…他人に対して謙虚な様子。
⑨ □を持つ…一方の味方をすること。
⑩ □をなでおろす…ほっとすること。

ポイント それぞれの体の部分と関係のある動作がヒントになるものもある。

① □ ② □ ③ □ ④ □ ⑤ □
⑥ □ ⑦ □ ⑧ □ ⑨ □ ⑩ □

**2** 慣用句　次の慣用句の意味を後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

① 根も葉もない　② 我を忘れる
③ 根にもつ　④ 話の腰を折る
⑤ 後の祭り　⑥ 水の泡

ア 横から口をはさんで相手の話をさえぎること。
イ 夢中になること。興奮して理性を失う様子。
ウ 時機を逃して効果が無いこと。
エ いつまでも恨みに思うこと。
オ 努力が無駄になること。
カ 何の根拠もないこと。

① [　　]
② [　　]
③ [　　]
④ [　　]
⑤ [　　]
⑥ [　　]

ポイント 慣用句は二つ以上の言葉が結びついて新たな意味をもつが、もとの一つ一つの言葉どおりの意味と全くかけ離れた意味を表すわけではない。言葉どおりの意味から状況を想像すると、意味を選ぶことができる場合が多い。

**3** 慣用句　次の文の□に当てはまる言葉として最も適切なものを後から一つ選び、記号で答えなさい。　〈鳥取〉

▪記者からのするどい質問に対して、彼はいいかげんな答えを繰り返した。彼の□ようなこの態度によって、ますます多くの記者から質問を浴びせられることとなった。

ア 花を持たせる
イ 横車を押す
ウ お株を奪う
エ お茶をにごす

[　　]

ポイント 「質問に対して、彼はいいかげんな答えを繰り返した」とあることから、いいかげんにごまかそうとする態度を表す慣用句を選ぶ。

**4** 慣用句　次の文の□に当てはまる言葉として最も適切なものを後から一つ選び、記号で答えなさい。　〈秋田〉

▪この相手には負けることはないだろうと□。

ア 肝を冷やす　イ かぶとを脱ぐ
ウ 二の足を踏む　エ たかをくくる

[　　]

ポイント 「この相手には負けることはないだろう」から、相手を低く見る、見くびるという意味の慣用句を選ぶ。

**5** 慣用句　次の□に漢字一字を当てはめて、慣用句を完成させなさい。　〈岡山〉

▪火に□を注ぐ

ポイント 勢いのあるものにさらに勢いを加えるようなことをする、という意味の慣用句を考える。火に注ぐと火がさらに燃えるもの。

**6** 慣用句　「過去にあったことを、全てなかったことにすること」という意味をもつ言葉を次から一つ選び、記号で答えなさい。　〈高知〉

ア 水に流す　イ 水泡に帰する
ウ 背水の陣　エ 覆水盆に返らず

[　　]

ポイント それぞれの選択肢の言葉を文字どおりに捉えてみて「なかったことにする」という状態に近いものはどれか考える。エ「覆水」はこぼれた水のこと。

（故事成語 100ページ）

**7** 慣用句　「雲の上の存在」と同じような意味で使うことのできる慣用句を次から一つ選び、記号で答えなさい。　〈岡山〉

ア 高嶺の花　イ 目の上のこぶ
ウ 破竹の勢い　エ 風前の灯

[　　]

ポイント まず「雲の上の存在」の意味を確かめる。「雲の上」が地上の人間にとってどのようなところかを考えると、意味が推測できる。